

平成24年度 NISA研修概要とスケジュール (更新 H25-2-28)

講座 詳細	講座名	概要	研修 日数	定員 (人)	講師 (注1)	開講 予定日	受講料(税別):円		テキスト代 (税別): 円	研修 会場 (注2)	H24年						H25年			
							キャリア助成: 無	キャリア助成: 有(概算)			上期						下期			
											4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
101	ネットワーク技術の基礎	ネットワークの基礎的な用語(IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、ルータなど)や技術(Ethernet、IP、TCP、DNSなど)を体系的に幅広く学習することにより、ネットワーク上のデータの流れを把握できるようになります。さらに、コンピュータのネットワーク情報を理解し、設定方法を実機演習で確認します。	2	16	FLM 上地 卓也	H24年 4月 12日・13日 (木)・(金)	63,000	35,640	5,000	出島 交流会 館	12・13									
102	Javaによるオブジェクト指向プログラミング	プログラミングの基礎を習得された方のJavaによるプログラミングステップアップコースです。カプセル化、継承、ポリモρφイズムなどのオブジェクト指向の特徴を理解し、Java言語によるオブジェクト指向プログラミングを習得します。	3	16	FSC 黒崎 義邦	H24年 5月 29日・30日・31日 (火)・(水)・(木)	77,800	42,327	5,000	出島 交流会 館		29・30・31								
103	データベース技術の基礎	製品に特化しないデータベースの特徴やデータベース管理システムの機能など、データベース全般の基本知識とリレーショナルデータベースの操作言語であるSQLの基本文法を学習します。実習ではSQLを使用してデータの検索、追加、更新、削除を行います。	2	16	FLM 柿沼 俊雄	H24年 6月 7日・8日 (木)・(金)	63,800	36,173	5,000	出島 交流会 館			7・8							
104	システム設計技術 開発技法編	情報システムを開発する際に、是非知っておかなければならないソフトウェア開発手法を捉えて、設計工程を中心に体系的に学習します。※「105.システム設計技術 ワークショップ編」と併せて受講いただく、より効果的です。	3	16	FSC 矢田 治郎	H24年 7月 4日・5日・6日 (水)・(木)・(金)	77,700	42,260	5,000	出島 交流会 館				4・5・6						
105	システム設計技術 ワークショップ編	システム設計技術で学習した内容を基に、与えられた課題を分析してお客様インタビューを行い、その結果を設計に反映するシステム設計の総合演習です。※「104.システム設計技術 開発技法編」と併せて受講いただく、より効果的です。	3	16	FSC 矢田 治郎	H24年 7月 11日・12日・13日 (水)・(木)・(金)	78,000	42,460	5,000	出島 交流会 館				11・12・13						
201	IT技術者のためのチームビルディング ～5つ教えて、4つ褒め、1つ叱る～	IT人材に必要なチームビルディングのスキル(すなわち、褒める、叱る、からモチベーション・マネジメント、アンガーマネジメント、リーダーシップとフォローアップシップ、報・連・相まで)を理論と実体験を元にご学習します。自分自身の振り返りはもちろんのこと、他者や講師からのフィードバックにより、自分の現在位置が分かり、さらなる成長のための自分自身のテーマが分かります。	2	16	FSC 山崎 有生	H24年 11月 15日・16日 (木)・(金)	61,000	34,307	5,000	出島 交流会 館	11月へ 変更						15・16			
202	現場力養成！若手社員の仕事術 ～問題解決編～	現場で起こる問題を見いだし解決するには、どう考え行動すべきかを講義と演習を通して学習します。演習では、若手社員が現場で経験する身近な題材をベースに問題解決に取り組むことにより、必要な問題解決手法を身につけます。	2	16	FLM 中村 和人	H24年 5月 17日・18日 (木)・(金)	58,000	32,307	5,000	出島 交流会 館		17・18								
203	IT技術者のためのドキュメンテーション ～「伝わる」文章化の技法～	IT人材に必要な不可欠な文書表現、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。ドキュメンテーション実習、マシニング実習を個人ワークのみならず、グループワークにより参加者の方々と交流しながら、身に付けることができます。	2	16	FSC 古古 敦子	H24年 6月 14日・15日 (木)・(金)	61,000	34,307	5,000	出島 交流会 館				14・15						
204	問題解決スキルを高める 「システム・シンキング」	システム・シンキングとは、問題の出来事(現象)よりも問題が発生するパターンやそのパターンを引き起こしている構造を捉え、問題の全体像を把握する思考法です。またピーター・センゲはシステム・シンキングを「木を見て森を見る思考法」と言い、「学習する組織」を構築する際の中核的ツールとして位置づけています。本講座ではシステム・シンキングにより、問題の構造を捉える手法を学び、問題解決へのアプローチ手法を学ぶことで、問題解決スキルを高めます。	2	16	FSC 西木 聡	H24年 8月 9日・10日 (木)・(金)	62,000	34,973	5,000	出島 交流会 館				9・10						
205	IT技術者のためのリーダーシップ ～部下育成、動機付け、 方針提示について学ぶ～	IT人材に必要な不可欠な部下育成のスキル、会議運営のスキル、ビジョン・目標設定のスキルを理論と実践により身につけます。実際の事例を使った様々なロールプレイ、ディスカッション等により参加者の方々と交流でき、コンピテンシー(高業績者の行動特性)を学びあうことができます。	2	16	FSC 小里 七重	H24年 9月 6日・7日 (木)・(金)	63,000	35,640	5,000	出島 交流会 館						6・7				
206	IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」 意思疎通の技法～	IT人材に必要な不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。ドキュメンテーションコンテスト、プレゼンコンテスト、対人モードの判定演習等により参加者の方々と交流でき、身に付けることができます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。	3	16	FSC 大橋 知子	H24年 10月 17日・18日・19日 (水)・(木)・(金)	77,400	42,060	5,000	出島 交流会 館							17・18・19			
207	システム開発におけるレビュー技法	・プログラムの構造設計・開発工程において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法について、基本的な技術(レビューの心得、レビューの進め方など)を学習します。 ・レビューの視点を知る」ということで、様々なレビューの種類を学び、どのような視点でレビューを行うかを学びます。 ・レビューの技法を知る」ということで、インスペクションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの仕方を学びます。 ・よりレビュー効果の高い、上流工程におけるレビューを意識したカリキュラムになっています。	2	16	FSC 宿澤 直正	H24年 12月 6日・7日 (木)・(金)	62,000	34,973	5,000	出島 交流会 館							6・7			
208	IT技術者のためのネゴシエーション ～社外・社内交渉をWin-Winに するために～	IT人材に必要な不可欠なクレーム対応、トラブル対応のスキル、顧客の信頼を得るスキル、新たな受注チャンスを見つけ、提案や営業活動につながるスキルを理論と実践により身につけます。実際の事例を使ったネゴシエーションゲームやロールプレイにより他社の方々と交流でき、身に付けることができます。	3	16	FSC 山田 篤彦	H25年 1月 16日・17日・18日 (水)・(木)・(金)	77,800	42,327	5,000	出島 交流会 館							16・17・18			
209	プロジェクト管理	与えられた課題(企業内のシステム化またはシステム開発)をプロジェクトとして認識し、プロジェクトの確立・組織化を行い、予算内でスケジュール通りに、所定の品質を保つプロジェクトを完了するための管理手法を取ります。	3	16	FSC 矢田 治郎	H25年 2月 13日・14日・15日 (水)・(木)・(金)	78,300	42,660	5,000	出島 交流会 館								13・14・15		
301	業務分析設計概説 ～システム開発における 要件定義のまとめ方～	情報システム開発における要件定義のうち、業務要件定義を中心に作業手順や主な成果物を講義と演習で学習します。情報システム開発における要件には大きく、経営要件、業務要件、システム要件があります。業務要件を明確に定義するには、その前提となる経営要件を確認したり、後続するシステム要件との関係についても理解しておく必要があります。それぞれの関係や重要性、作業手順、主な成果物などについて学習します。	2	16	FLM 海老原孝徳	H24年 7月 26日・27日 (木)・(金)	59,000	32,973	5,000	出島 交流会 館				26・27						
302	業務分析・設計のための 業務モデリング 実践トレーニング	複雑化するシステム要求を明確にするには、業務を可視化(業務モデリング)する必要があります。その手法として、業務の流れを可視化するプロセスモデリングと業務で扱う情報の関係を可視化するデータモデリングがあります。本コースでは、両手法を実践する際の分析視点、手順、表記法を講義と演習によって学習します。	3	16	FLM 鈴木 賢一	H24年 8月 1日・2日・3日 (水)・(木)・(金)	75,000	40,460	5,000	出島 交流会 館				1・2・3						
303	Androidアプリケーション開発技法	今後、一層のシェア拡大が予想されるAndroid端末。本コースではAndroidアプリケーション開発に必要な環境構築、主要な開発技術などについて、演習を通して習得します。	3	16	FSC 楠木 慶子	H24年 8月 22日・23日・24日 (水)・(木)・(金)	78,800	42,993	5,000	出島 交流会 館				22・23・24						
304	プログラム開発におけるレビュー・ テスト技術の基礎	プログラムの構造設計・開発工程において、プログラムの品質を確保するためのレビューとテスト技術について、基本的な技術(レビューの進め方、テスト項目の抽出など)を学習します。	2	16	FLM 川井 重明	H24年 9月 13日・14日 (木)・(金)	59,000	32,973	5,000	出島 交流会 館						13・14				
305	最新Webアプリケーション開発 (HTML5、JavaScript、CSS3)	Webアプリケーション開発技術で最も注目を集めているHTML5、CSS3、JavaScriptを使用したWebアプリの開発技術を、演習を交えて実践的に習得する。	3	16	FSC 黒崎 義邦	H24年 9月 25日・26日・27日 (火)・(水)・(木)	77,000	41,793	5,000	出島 交流会 館						25・26・27				
306	クラウドシステム構築	クラウドコンピューティングの概念から特徴、市場・業界の変化、国内・海外のサービス、ベンダーの最新動向など幅広くご紹介いたします。また、セミナーの中で、クラウド上で動作するアプリケーションの開発を体験して頂きます。知識と体験を通じて、クラウドコンピューティングの基礎知識を習得します。	2	16	FSC 中西 亮二	H24年 10月 24日・25日 (水)・(木)	63,000	35,640	5,000	NISA 研修室						24・25				
307	OOAオブジェクト指向 (モデル化技法:UML入門)	ソフトウェア開発アプローチとして注目され、既に多くWebシステム開発で応用されているのがオブジェクト指向アプローチです。そのモデル化技法としてのUML(Unified Modeling Language)の基本スキルを、演習を交えて学習します。※「308.OOAによるシステム分析・設計」コース受講の前提知識コースの位置づけでもあります。	2	16	FSC 矢田 治郎	H24年 11月 8日・9日 (木)・(金)	61,000	34,307	5,000	出島 交流会 館						8・9				
308	OOAによるシステム分析・設計	ソフトウェア開発において社会変化に迅速に対応するためのソフトウェア開発アプローチとして注目され、既に多くWebシステム開発で応用されているオブジェクト指向アプローチを取り上げ、モデル化技法としてのUMLによる分析から設計までを体系的に学習します。	3	16	FSC 矢田 治郎	H24年 11月 20日・21日・22日 (火)・(水)・(木)	78,600	42,860	5,000	出島 交流会 館						20・21・22				
309	ネットワークセキュリティ	自組織の情報セキュリティ対策を進めていく上で基本となる、ファイアーウォール、暗号技術、認証技術、ウイルス対策、情報セキュリティマネジメントシステムの基本的知識や留意点について、シミュレータ実習およびグループ演習を交えながら学習します。	2	16	FLM 河田 淳也	H24年 12月 20日・21日 (木)・(金)	73,300	42,507	5,000	出島 交流会 館						20・21				
310	テストと品質	検討したシステム要件を、成果物としてのシステムが満たしている事を評価することが重要です。その為に必須の知識を、品質とテストの二面より学習します。又、運用・保守に関する設計上の制約条件等も含めて学習します。	3	16	FSC 矢田 治郎	H25年 2月 26日・27日・28日 (火)・(水)・(木)	77,100	41,860	5,000	NISA 研修室							26・27・28			
R001	オブジェクト指向基礎 ～基本概念とUML～	オブジェクト指向の基本概念、利用度の高いUML(Unified Modeling Language)ダイアグラム、およびオブジェクト指向開発の基本的な作業を説明と演習によって学習します。	2	10	FLM 講師 【遠隔】	H24年 7月 24日・25日 (火)・(水)	20,000	6,443	受講料に 含む	NISA 研修室				24・25						
R002	C言語プログラミングの基礎	C言語の基本的なプログラミング方法を学習します	3	10	FLM 講師 【遠隔】	H24年 7月 18日・19日・20日 (水)・(木)・(金)	20,000	2,998	受講料に 含む	NISA 研修室				18・19・20						
R003	LAN/WANの要素技術	ネットワークを導入する際に必要となる要件(利便性向上、障害対策、通信制御など)を理解し、企業ネットワークへ適用するポイントを学習します。講義は、新任のネットワーク管理者が現場で発生するさまざまな問題を解決していく、という形式で展開しており、企業内におけるネットワークの利用シーンやその導入効果を具体的に学習することができます。	1	10	FLM 講師 【遠隔】	H24年 6月 1日(金)	20,000	10時間 未滿の為、 適用対象外	受講料に 含む	NISA 研修室			1							

(注1) 担当略称 FSC:福岡ソフトウェアセンター、FLM:富士通ラーニングメディア

(注2) 会場 ①高技専=長崎高等技術専門校2F、②出島=出島交流会館9F、③石井税理士=石井税理士事務所3F会場 ④NISA研修室=一般社団法人長崎県情報産業協会・7F研修